

LST (栽培)

ライフ・スキル・トレーニング
～生活スキルを高める！～



むすび深町ではカリキュラム内でミニトマト・なす・きゅうり・大葉・小ねぎなど比較的家庭菜園でも栽培しやすい野菜をプランターで育てています。今年は施設工事のために途中でのプランターの移動、高温少雨、手入れ不足などの影響から野菜の実りが悪く収穫量は少ないですが、調理実習やカリキュラム内のおやつとして食べるなど、収穫の喜びを味わっています。昨年のごぼれ種から発芽した大葉が元気に成長しています。食べきれないので、電子レンジで加熱し乾燥させ、ふりかけなどに加工する所です。

8月の調理実習では、「そうめんを2種類のつけダレで楽しみたい」という案から話が広がり、栄養バランスを考えたメニューをk検討しました。

- そうめん (タレ: めんつゆ、胡麻だれ)
- 豚肉のしょうが焼き (キャベツの千切り)
- わかめときゅうりのしょうが和え
- フルーツヨーグルト

めんのだしに鶏ひき肉と収穫したねぎ・大葉を添えました。栄養士さんお墨付きの栄養バランス、ボリューム満点、なんと一人404円でした!

調理実習



特定非営利活動法人あじさい

むすび深町

住所: 〒990-2462

山形市深町1丁目4番13号

TEL: 023-666-4471

FAX: 023-666-4472

E-mail: musubi-f@klala-net.jp

ご見学や体験希望の方、大歓迎です。
加藤・服部・金田までご連絡ください。

[むすび深町のHPこちら→](#)

自立訓練の説明、ご利用の流れ、建物の様子など掲載されています。過去の広報誌もこちらでご覧いただけますので、ぜひアクセスして下さい。



広報誌

2025年9月号

自立訓練 (生活訓練)

宿泊型自立訓練
相談支援事業所

むすび深町



8月の課外活動は「B型就労支援事業 ミライフーム 山形」さんの事業所見学をしてきました。まずはどのような野菜やお花を栽培しているのか、その栽培方法を説明頂きました。いきいきした植物たちを前に利用者の皆さんも興味津々です。その後も様々な仕事内容にふれ、仕事に対するイメージがどんどん沸いてきていました。事前に考えてきた質問などにも優しく丁寧に返して頂き、工賃について、昼食について、送迎について、レクリエーションについてなど様々なことを知ることができました。雨の日でしたが皆さんとても明るい表情で活動を終え、充実した時間を過ごすことができました。見学に快く応じてくださいましたミライフームさんに感謝の気持ちでいっぱいでした。ありがとうございました。

《参加した利用者さんの感想》

- ホームページでは水耕栽培のことを知ったがそのほかにも栄養ドリンクやPC作業などがあることがわかり、働き方についても詳しく知ることができ、いい時間だった。(Sさん)
- 水耕栽培だけでなく違う仕事もあり、知れてよかった。(Yさん)
- 課外活動が初めて、B型見学が初めてだが、雰囲気もよく、職員の皆さんが聞いたことに対して優しく教えてくれ、利用者の皆さんも笑顔で見送ってくれたり、いい場所だと思った。(Tさん)
- 印象がよかったです。(Sさん)
- 野菜がおいしそうでした。(Yさん)



むすび深町 宿泊型カリキュラム

について



地域移行支援員とはどんな仕事ですか？

宿泊型自立訓練利用者の「卒業後の住まいに関する支援」をしています。これまで家電の選び方へ同行、また不動産屋への同行（内見・契約ふくむ）、行政への届出の同行、公共料金停止・開始連絡の同席をしています。各利用者の相談員の方と連携を図りながら、本人の依頼を受けて支援しています。

宿泊型カリキュラムの内容で 大事にしていることは何ですか？

将来のビジョンを「現実的に」考えることができるようにしています。そのうえで、自分の目標を立てることができるように説明を行っています。

令和7年の実施内容（予定も含む）

- 1月 住まい探しのポイント（その1）
- 2月 卒業に向けて（その1）
- 3月 「キモチプラス」について
- 4月 宿泊型のルールについて（その1）
- 5月 避難訓練～夜間の火災発生～
- 6月 ごみの出し方（ルールとマナー）
- 7月 食生活について
- 8月 住まい探しのポイント（グループホーム編）
- 9月 避難訓練～夜間の火災発生～（その2）
- 10月 宿泊型ルールについて（その2）
- 11月 安全危機管理
- 12月 卒業に向けて（その2）

今後はどのように、どんな内容を実施していきたいですか？

頻度はこれまでの形を継続してゆきたいと考えています。今後の理想としては、卒業生の方からの講話ができたらいいなと思っています。

むすび深町では、宿泊型自立訓練の利用者に対して、個別支援・体調管理・居室点検を中心とした支援体制を取っています。その他に大きな特徴として、＜宿泊型カリキュラム＞と名付けて、月に一回利用者一堂に会してもらい講座を実施しています。

今回はそのカリキュラムの内容を考え、講師もされるむすび深町・地域移行支援員の金田知子さんに答えてもらいました。



8月実施！ 住まい探しのポイント グループホーム編の報告 ↓

むすび深町で訓練を終えた2年後の住まいについて

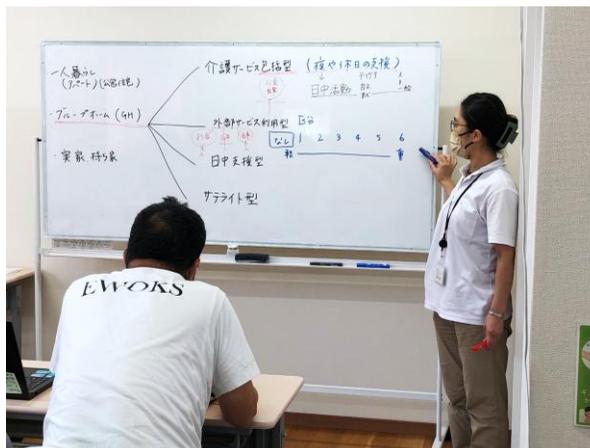
【3つの方向性】

一人暮らし

（アパート＆公営住宅）

グループホーム

実家・持ち家



利用者さんの頑張りを
ご報告

M・Kさん



日本情報処理検定協会が主催している、「日本語ワープロ検定試験」にて3級を合格しました。おめでとうございます！

「仕事のスキマに練習していたので時間も十分に取れずに不安だったが、合格できて良かった！」とご本人のコメント

グループホームと一口に言っても、大きく4つの種類の分かります。

●介護サービス包括型

夜や休日に主にスタッフが配置されていて、日中はデイケア・自立訓練・就労など活動先に通う。

●外部サービス利用型

常時職員は配置されておらず、各分野の外部サービスと連携して支援がなされる。

●日中支援型

24時間職員が在籍しており、日中もそこで過ごすことができる。ただし、障がい区分が3～6の方のみ利用できる仕組み。

●サテライト型

シェアハウスに近いような共同生活型。今の所、数は少ない。

8月のカリキュラムを受けた ↓利用者さんからの振り返りコメント

- 初めて聞くことが多く、勉強になった。
- むすび深町に入居してもうすぐ1年だが、まだまだ先の事が考えられていないことを実感した。
- グループホームは包括型のことは知っていたが、他の仕組みがあることを初めて知ることが出来た。
- 選択枝がたくさんあることに驚いた。サテライト型が特に気になった。
- 障がい等級と障がい区分が違う事、初めて知った…。

